



日本一の揃い打ち

MINAKOI

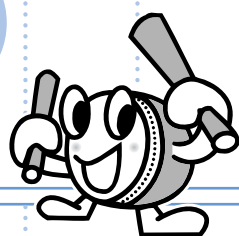
第36回
岡谷

大・鼓まつり

日本の屋根から世界に響け!!

13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00

13日
(土)



OKAYA TAIKO FESTA

ふれあい広場
●イルフプラザ前/ふれあいステージ

MINAKOI わっさか
●おどりパレードコース (丸山橋線・童画館通り)

LCV TV (18:30~) **空中継**
必見!これが話題の日本一の揃い打ち
●メインステージ

14日
(日)

ふれあい広場
●イルフプラザ前/ふれあいステージ

第6回 世界和太鼓打ち比ベコンテスト
●カノラホール

必見!これが話題の日本一の揃い打ち
●メインステージ

子どもパレード・長持ち・みこし
●岡谷駅~童画館通り~中央通り~丸山橋線~本会場

※雨天の場合は中止
MINAKOI わっさか
●丸山橋線 (イルフプラザ)・童画館通り

イルフプラザ
北側広場で開催!!



カノラホール

第6回世界和太鼓打ち比べコンテスト

文部科学大臣奨励賞・長野県知事賞・岡谷市長賞

国内の厳しい予選を通過した選りすぐりの9団体の、研ぎ澄まされた妙技をご覧ください。

●14日(日) 午後2時～5時 入場無料

メインステージ

必見！これが日本一の揃い打ち！

岡谷太鼓祭りの見どころは、なんといっても60mのメインステージで繰り広げられる“揃い打ち”。豪快無比、天地を衝く300人による揃い打ちをお見逃しなく。

●13日(土) 午後6時30分～9時

14日(日) 午後6時30分～9時

※有料観覧席を用意してあります！

1席1,500円(13日200席、14日300席)

前売り券は、実行委員会事務局にて販売、当日は会場にて販売

(午後10時まで)

P 予約バス専用

カノラホール

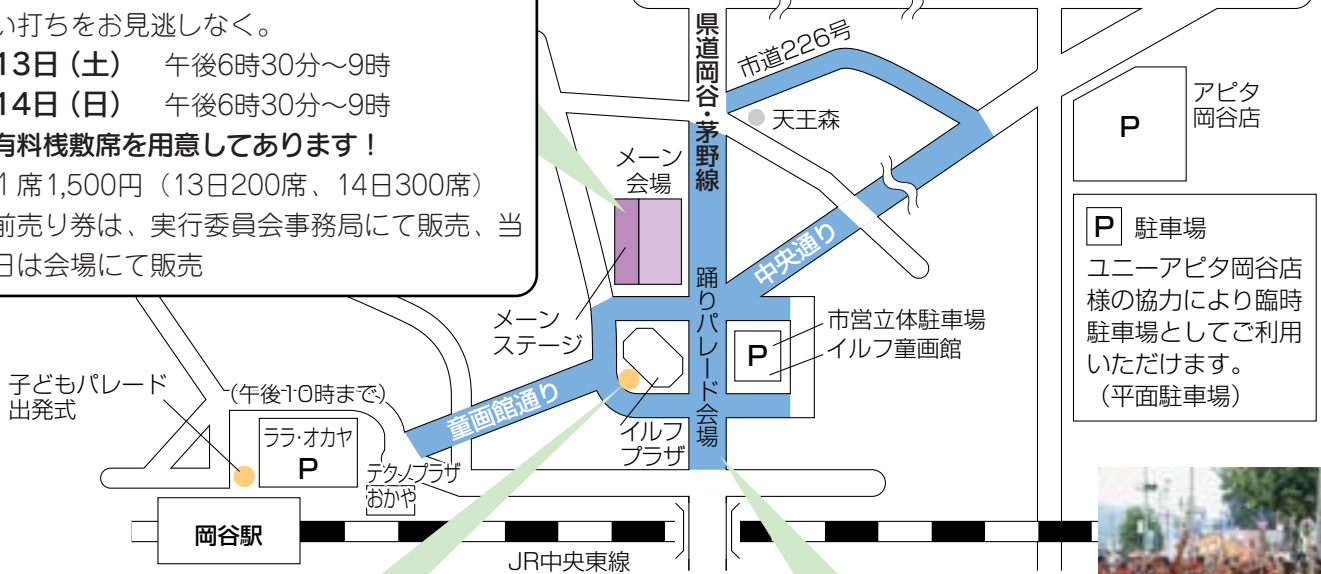
岡谷消防署

県道下諏訪辰野線

P アピタ岡谷店

P 駐車場

ユニアピタ岡谷店様の協力により臨時駐車場としてご利用いただけます。(平面駐車場)



イルフプラザ前《童画館通り側》

ふれあい広場

ふれあい広場は、参加者の手作りによる楽しいステージ。多彩な催し物が繰り広げられます。

●13日(土)、14日(日) 午後4時～9時

※8日(月)～12日(金) 参加太鼓連による事前PR演奏 午後7時～

県道岡谷・茅野線(丸山橋線)

MINAKOIわっさか

曲目、内容、すべてが自由。個性的な踊りで表現するフリースタイル部門と流し踊り連が華麗に競います。

●13日(土) 午後3時～9時

流し踊り：午後3時35分～

フリースタイル：午後5時～



◎詳しくは、

岡谷太鼓祭り実行委員会
23-2453

⊗ 車両通行止区域のお知らせ

●13日(土)

- ▽丸山橋線 午後3時～9時30分
- ▽童画館通り 午後3時～9時30分
- ▽中央通り(四丁目) 午後3時～9時30分

●14日(日)

- ▽丸山橋線 午後3時～9時30分
- ▽童画館通り 正午～午後9時30分
- ▽中央通り 正午～午後6時
- ▽中央通り(四丁目) 正午～午後9時30分
- ▽市道226号線 正午～午後6時
(天王森～マルヨ清水自転車店)

無料バス(13日のみ)

臨時無料バスを運行します。

- ◆午後9時30分ごろ、岡谷駅前より出発予定
- 今井経由長地方面、川岸方面、湊方面…各1台ずつ

シルキーバス

太鼓祭りの間、運行が変更になる路線がありますのでご注意ください！

※詳しくは最終ページをご覧ください。

60年目の日章旗



出征軍人に贈られた「日章旗」は戦場でのお守りであり、武運長久を祈った家族や親戚、地区の人々などから寄せ書きがされていました。

戦後60年を経て、一枚の日章旗が国境を越えて人と人とを結び付け、戦争と平和の意味を語りかけてくれました。

その寄せ書きされたシルクの日章旗は、昨年の9月に東京都杉並区に住む女性から岡谷市へ送られてきました。

同封の手紙には「今夏（平成16年夏）、中学生の息子がアメリカ・ウイスコンシン州にホームステイした際、ホストファミリーの親戚の方から『第二次大戦で亡くなったおじいさんが、戦った日本兵のポケットにあったものを持ってきた。日本に返します。』と言って手渡され、持ち帰ってきました。早く親族の方にお返しして供養していただければと思います。どうぞして良いかわからず、寄せ書きにあった当時の岡谷市長の名前から、岡谷市に関係のあった方と想うので親族を探してほしい。」とのことでした。

市では、日章旗にあったお名前「塩原武志さん」を岡谷市遺族会に照会しましたが、該当する方はなく、寄せ書きに多くあった地区や寄せ書きをした方で生存している本人にあたっては有力な手がかりは得られませんでした。

そこで同年12月に、各報道機関に協力を依頼し、広く報道していただいた結果、塩尻市在住の塩原昭四郎さんから「私の甥ではないか」との連絡があり、確認の結果、60年の時間を経て、日章旗が親族に返還されました。

市役所を訪れた昭四郎さんと武志さんの友人だった塩原固治郎さんは日章旗に触れて、「60年ぶりにおじさんが戻ってきたよう。昭和19年7月の中部太平洋作戦で敵の魚雷攻撃で戦死したと聞いていたので、海の藻くずと化したと思っていた。(遺品が戻ったことに)東京の女性、岡谷市、アメリカのみなさんにお礼を言いたい」と述べられました。



遺品に触れ確認する
昭四郎さん(中)と固治郎さん(右)

武志さんは洗馬村(現塩尻市)出身で、戦時中、岡谷市の理容店へ修行に出ていて、そこで召集を受け、歩兵第135連隊に所属し、昭和19年にサイパン島で亡くなったらしいことが分かりました。

林市長はこの日章旗返還を仲介してくれた都内の女性とアメリカの関係者に報告とお礼の手紙を送りました。

アメリカのホストファミリーシエリー・コストリーバさんからは

「あの旗のいわれが解かり、遺族に渡されたことは大変にうれしい。私の親族も第二次大戦でアジアの島で戦死し、何も遺品がかえってくることはなかったので、ご遺族の感情はよく理解できます。何年も昔にこのような悲しい出来事があったとはいえ、今では私たちの国々は「友達」です。」とのお返事がありました。

また、旗を保管していた家族フリッツ・ウエイドナーさんからは「旗が本来あるべきところに戻り、この再会をお手伝いできたことを光栄に思います。旗を持ち帰った祖父レイモンド・クリシンガーは7年前に他界しましたが、戦争中のことはあまり語ってくれませんでした。それは一生さいなまれるような戦争の恐怖を味わったからです。

旗にはいったい何が書かれているのか、誰のものなのかと思っていました。そして私の姉妹のところに訪れた時、ホームステイしていた日本人の少年に翻訳を依頼しました。



ライフル部隊の長官だった
レイモンド・クリシンガーさん

その結果、この旗はこの持ち主を愛した人々によって作られたものだと解かり、私たちの手元にあるよりは日本にあるべきだと判断して託しました。ご家族のみなさんには、深い同情の念をおぼえます。私たちは言葉や文化は違いますが、抱く感情は同じです。」との喜ばしくも苦しい胸の内をつづったお返事がありました。



林市長と懇談するウエイドナーさん(右から2人目)
・コストリーバさん(右端)

平成17年4月、林市長は姉妹都市提携40周年記念でアメリカ・ミシガン州マウントプレザント市を訪問していた時、隣州に住むコストリーバ家・ウエイドナー家の両家族がはるばる約700kmの道のりを車で駆け付け、対面が実現し、日章旗を大切に保管していただいていたお礼と返還までの経過、3月に法要が行われ供養されたことを報告しました。

ウエイドナーさんは「この戦争の形見を見るたびに歴史の中で行われたことを知り、気持ちが悪く落ち着かない。この旗は自分のものだと思っただけはなかった。」と語り、改めて持ち主の遺族に返還できたことを喜びました。

この一枚の日章旗を通じた交流は、現地の新聞でも大きく取り上げられ、戦争と平和について考える機会となりました。

60年前は国のためにと、一度も会ったことのない者同士が殺し合い、憎みあいました。これからは戦争という過去を正しく理解し、二度と戦争を起こさない平和な世界を築かなければなりません。また、平和のいしずえとなった先人たちの犠牲を忘れてはなりません。

永遠の平和を願って サイレンで黙とう

8月6日【広島】と、9日【長崎】は「原爆の日」です。また、15日は「終戦記念日」です。

市では、防災行政無線で次の時間にサイレンを鳴らします。
亡くなられた方の霊をなぐさめ、永遠の平和を願って黙とうしましょう。

- ▽6日(土) ……午前8時15分
- ▽9日(火) ……午前11時2分
- ▽15日(月) ……正午